

令和5年第9回定例公安委員会会議録

開催日時 令和5年4月20日（木）午前11時10分～午後2時40分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後1時52分

2 出席者

公安委員会 久本委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 半田警察本部長 雲田警務部長 山本首席監察官
笠田生活安全部長 加藤刑事部長 前田交通部長
岡山警備部長 植木警察学校長 坂口情報通信部長
足羽警務部参事官

（事務局等～畔田公安委員会補佐室長、前田室長補佐）

3 議題事項

4 報告事項

- 令和4年度留置施設実地監査の実施結果（警務部）
- 自転車乗用中に死傷した交通事故の分析結果（交通部）
- 令和5年度機動警察通信隊の指名及び訓練の実施（情報通信部）

（1）令和4年度留置施設実地監査の実施結果（警務部）

警察本部

刑事収容施設法に基づき、被留置者の処遇の斉一を図り、法律の適正な施行を期することを目的に、毎年度、各警察署の留置施設実地監査を実施している。監査では、留置施設の点検や職員に対する聞き取り、書面監査を実施している。実施結果は、若干改善を要する事項はあったものの、各署とも概ね良好であった。

引き続き、良好な事項については、各警察署に共有することとし、一部の警察

署においてみられた改善を要する事項及び改善措置については、当該警察署だけの問題ではなく、県警察全体の問題として捉え、今後も継続的な指導や巡視によって、基本の遵守を徹底させ、適切な留置管理業務の運営に努める。

委員

留置管理業務支援員による留置担当官の負担軽減が図られるよう、しっかりと対応をお願いしたい。留置管理業務を行っている警察官を留置管理業務支援員がしっかりとフォローし、業務がスムーズに行われるよう、改善をお願いする。

改善を要する事項は、どれも軽微なことであるが、これらが重大な事案につながることもあることから、改善にしっかりと取り組んでほしい。

委員

良好な事項、改善を要する事項ともに、全ての警察署で共有していただきたい。留置管理業務は、単調な勤務とのイメージがあるが、功労者の表彰など、賞揚を今後も行っていただきたい。

引き続き、適正な留置管理業務をお願いする。

委員

特に良好な事項を見ると、表彰等の士気を上げる取組がなされており、これがモチベーションを高めることにつながると感じた。改善を要する事項については、基本の遵守を徹底することにより改善を図っていただき、引き続き、適正に業務を推進するようお願いする。

(2) 自転車乗用中に死傷した交通事故の分析結果（交通部）

警察本部

平成25年から令和4年までの過去10年間の県内における自転車乗用中の死傷者は1,224人で、このうち24人の方が亡くなっている。過去10年間の交通事故の死者数は241人で、全死者数に占める自転車乗用中の死者数の割合は、約1割である。死傷者1,224人うち、高校生の死傷者数は212人、約17.3パーセントで、最も多い。また、中学生の死傷者数は90人、約7.4パーセントで、中学・高校生の死傷者数は、全死傷者数の24.7パーセントを占めている。また、死者24人のうち、65歳以上の高齢者は15人、約62.5パーセントを占め、高齢者の割合が高くなっている。

中学・高校生の時間帯別死者数は、登下校中の時間帯に当たる午前8時から午前10時までの間、午後4時から午後6時までの間の時間帯で多くなっている。また、高齢者の時間帯別死者数は、買物等をする時間帯にあたる午前10時から午後0時までの間が多くなっている。法令違反別死傷者数は、中学・高校生では114人、約37.7パーセントに何らかの法律違反が認められ、特に一時不停止違反の割合が高い。また、高齢者は、97人、約28.6パーセントに何らか

の法令違反が認められ、特に安全不確認の違反の割合が高い。

自転車乗用中の死傷者のヘルメット着用率は10.8パーセントで、中学生は51.1パーセントが着用していたが、高校生は4.2パーセント、高齢者は2.7パーセントと、低い着用率であった。

自転車乗用中の交通事故抑止対策として、交通安全意識の向上に資する広報啓発活動や交通安全教育の推進、自転車利用者に対する指導・取締りの強化の2点を重点的に実施していくこととしている。

本年4月1日に道路交通法の一部改正があり、これを契機に自治体や学校をはじめとする関係機関・団体等と連携した自転車乗用中におけるヘルメット着用に向けた広報啓発活動、自転車安全利用のための交通ルールの周知と遵守をさらに進め、自転車乗用中の事故のない安全で安心な鳥取県の実現に向けて、今後も各種対策を推進していくこととしている。

委員

しっかりと分析していただいている。この分析結果を、今後の取組に生かしていただきたい。分析結果を見ると、1つは高齢者対策、もう1つはヘルメット着用率の向上が重要であると思う。

4月からヘルメットの着用が努力義務となり、報道でたくさん取り上げられ、着用される方が少しずつではあるが増えてきているように感じている。関係機関と連携しながら、引き続き、ヘルメット着用率、交通マナーの向上につながるような取組を推進してほしい。

委員

自転車乗用中の交通事故が多いことを知らない方が多いと思う。この分析結果をSNSを活用するなどして、広報していただきたい。

委員

4月からヘルメットの着用が努力義務となっているが、ヘルメット着用率は目に見えて上がっているとはいえない状況であることから、引き続き、広報をお願いする。

(3) 令和5年度機動警察通信隊の指名及び訓練の実施（情報通信部）

警察本部

機動警察通信隊は、全国の各都道府県の情報通信部に設置されており、災害、事件、事故等の突発事案が発生した場合や警衛・警護警備の実施時に、警察本部と現場警察官との指揮命令や報告が円滑に行われるための各種通信対策等を行っている。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、指名式は控えていたが、今年度は、4月4日に指名式を行い、隊員の職責の自覚、士気の高揚を

図るとともに、一致団結して今後の活動に取り組んでいくよう、気持ちを新たにしたところである。

指名式終了後には、警察本部において、昨年度末に新たに配備されたヘリコプターテレビ可搬追尾装置の設営訓練を行い、資機材取扱の習熟を図った。

引き続き、県警察の各部門と連携しながら、各種訓練を実施するなどして、練度を高め、突発事案が発生した場合には的確に対応できるよう努めていく。

委員

映像の力は、とても大きいと思う。突発事案に的確に対応できるよう、しっかり訓練を行い、技能を向上させていただきたい。

委員

技術革新により、新たな機器が配備されると思うが、都度、訓練し、機器取扱の習熟に努めていただきたい。

委員

機動警察通信隊の活動により、現場の状況がより早く、正確に入ってくると思うので、今後もしっかりと訓練をお願いします。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

令和4年度留置施設実地監査の実施結果

4 報告事項

- ・鳥取県警察大規模警備対策委員会・幹事会の開催結果
- ・暴力団幹部に対する中止命令の発出

5 決裁

指定自動車教習所事務処理規程の一部改正

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。